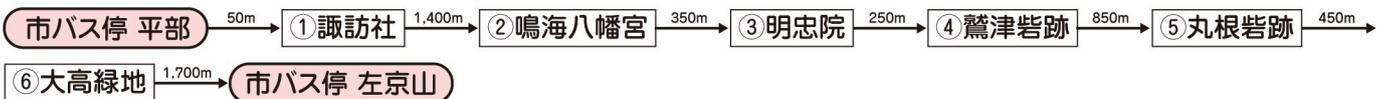


### コース順路 (全長約5km)



### コースガイド

#### ① 諏訪社(すわしゃ)

祭神は建御名方神。創建は不詳だが、ここは14世紀頃に瑞泉寺があったところといわれ、当時すでに諏訪社も祀っていたことから鎌倉時代と推定される。現在の本殿は昭和11年に造営されたもので、現在の社務所が旧本殿であった。境内には、神社と建御名方神のお妃である八坂刀賣命を祭神とする下諏訪社も祀られている。

#### ② 鳴海八幡宮(なるみはちまんぐう)

祭神は応神天皇、瓊々杵尊、玉依姫命、神功皇后、月読命の五柱。創建は不詳。成海神社の別宮と伝えられている。裏方の成海神社に対し、表方と呼ばれる。神木は樹齢1100から1200年のクスノキの大木である。



#### ③ 明忠院(みょうちゅういん)

曹洞宗、天正元年(1573)山口海老之丞が創建。本尊は釈迦如来金銅坐像。その他に、子守地藏像、毘沙門天立像がある。当初は真言宗であったが、元和5年(1619)春江院の末寺となり今の宗派とした。大正10年(1921)に県下で初めて保育施設を開設し、その記念碑がある。

#### ④ 鷺津砦跡(わしづとりであと)

永禄2年(1559)信長が大高城に備えて、大高城の北東700mの丘陵上に、丸根砦とともに築城。永禄3年の桶狭間合戦のとき今川勢に攻められ、砦を守っていた飯尾定宗ら大半の兵士が討死した。現在は公園にもなっており石碑が立っている。(昭和13年国指定文化財)



#### ⑤ 丸根砦跡(まるねとりであと)

鷺津砦の東南400m、大高城の東方800mの地点にあり、永禄2年(1559)信長が大高城を包囲するように築かれた砦の一つで、永禄3年の桶狭間合戦のとき、佐久間盛重が守り、松平元康(徳川家康)ら今川勢の軍と激戦したところである。現在は石碑が建っている。(昭和13年国指定文化財)